

令和4年度

学生によるオレンジリボン運動

神戸医療未来大学 実施報告書



実施主体 神戸医療未来大学 藤田・永浦ゼミ

実施内容 貧困と児童虐待の関連について考える

①事前に取り組んだ内容

- ・児童虐待の類型、児童相談所の役割について復習しました。
- ・吉川ばんび (2022). 「大学はぜいたく品」と門前払い…生活保護を受けられない“貧困学生”の過酷すぎる現実. 文春オンライン. を読んで、貧困と児童虐待の関連性について学びました。

②実施期間に取り組んだ具体的内容

授業時間中と、休み時間のオープンスペースを使って、在学生に児童虐待に関心を持ってもらおうと声をかけ、テーマについて話し合いました。

学歴は貧困の負の連鎖から脱却する上で重要であり、どうすれば「学び」の権利を保障できるか話し合いました。また、毒親から生き残るために、児童はどこに相談すればよいのか、将来、支援者になる私達はどのように接してサポートしていけばよいか話しました。

③オレンジリボン運動を終えて…

身体的虐待や心理的虐待は、わかりやすく絶対にやってはいけないことは授業で学んでいました。しかし、経済的援助がないというのは児童虐待には該当しないけど、子どもの人生を大きく左右するので放置できない問題だと思いました。

答えが出ない内容で考えるのが非常に難しかった。しかし、皆の様々な意見を聞いて、「ああ、そういう見方もできるんだ」と新たな気づきを得ることもできました。

何よりも、「子どもの権利」を第一に、最善の利益に適うよう、社会に対して働きかけていく重要性を学びました。

写真



(左) 勉強の題材

<https://bunshun.jp/articles/-/58450>

(右) 啓発ポスターの掲示。

(勉強・発表会の写真はプライバシーの関係で掲載していません。ご了承ください)

【神戸医療未来大学】 <https://www.kinwu.ac.jp/>